

大分県 公立高校の入試制度

【2021年度版】

選抜概要

- 大分県の公立高校入試は、推薦選抜・一次選抜・二次選抜があります。

	推薦選抜	一次選抜	二次選抜
出願期間	1/19(火)~22(金)	2/15(月)~19(金)	3/15(月)~17(火)
志願変更	—	2/22(月)~26(金)	—
検査日	2/2(火)・3(水)	3/9(火)・10(水)	3/18(木)
合格発表	2/4(木)まで	3/12(金)	3/19(金)

- 出願は、原則1校1学科(1部)に限ります。
ただし、一次選抜において、職業に関する同一大学科内及び普通科と普通教科系の専門学科との間においては、二つ以上の学科をくくって募集することができます。くくり募集をする学科の場合は、1学科とみなして志願します。

推薦選抜

- 推薦選抜は、AとBの区分があり推薦要件や内容が異なります。

[推薦A] 志願する動機・理由が明確かつ適切であり、学科に対する適性及び興味・関心を有し、調査書の各記録が学科を志望するのにふさわしい受検者を対象。

- ・実施校：別府翔青(グローバルコミュニケーション科)、大分舞鶴(理数科)、芸術緑丘(音楽科・美術科)

[推薦B] スポーツ活動、文化活動、その他の活動において成果を収めた者等を対象。

- ・実施校：推薦A実施学科を除く全ての学科

- 選抜方法(選抜資料の○は必須事項)

推薦書・調査書・面接及び、必要に応じて実施する検査結果を資料として、合格内定者を決定します。なお、A・Bいずれかの推薦選抜に出願し合格が内定した場合は、一般選抜への出願はできません。

選抜方法	推薦A	推薦B		
		普通科・専門学科	久住高原農業農業科	総合学科
募集人員	該当学科の入学定員の50~100%の範囲	入学定員の20%以内	入学定員の50%以内*	入学定員の30%以内
選抜の資料	調査書	○	○	
	推薦書	○	○	
	適性検査	○	実施しない	
	面接	○	○	
	小論文	○	必要に応じて各学校判断により実施	

*久住高原農業高校農業科の募集人員のうち、全国募集による志願者の定員は30%程度とする

一次選抜

●選抜内容（○…必須事項）

募集人員		各学校の入学定員から推薦合格内定者数を減じた数
選抜の資料	調書書	○
	学力検査	○ [国語・社会・数学・理科・英語（各50分・各60点）]
	適性検査	必要に応じて各学校判断により実施可能 ※令和3年度は実施校なし
	面接	必要に応じて各学校判断により実施

●選抜方法

- ・調査書の教科学習成績及び学力検査を実施しない教科の換算点の合計点、並びに学力検査成績の総合得点と調査書のその他の記載事項及び面接、適性検査を実施した場合はその結果を資料として、総合的に判定します。
- ・調査書の合計点と学力検査成績の比率（3：7～5：5の範囲）は学校ごとに定められています。
- ・5教科を課す高等学校では、専門学科において学力検査配点の比重を変える傾斜配点（2倍まで）を行うことができます。傾斜配点を採用する教科や倍率については、各学校ごとに決定されます。

※学力検査は5教科のうち3～5教科の範囲内で学校ごとに定めることができますが、2021年度入試では全校が5教科を実施しています。

二次選抜

●実施及び募集人員については3月中旬に教育委員会において発表されます。

ただし、一次を実施しない高校については、二次実施の有無及び実施する場合の募集人員を2月初旬ごろに教育委員会において発表するものとしています。

出願については、一次に出願した者に限ります。ただし、一次を実施しない学校はこの限りではありません。また、推薦・一次に合格した者は出願出来ません。

出願は原則1校1学科（1部）に限りませんが、通信制課程との併願は認められています。

●選抜内容（○…必須事項）

選抜の資料	調査書	必要に応じて資料とする	少なくともいずれか1つを選択して選抜資料とする
	学力検査	必要に応じて資料とする （一次選抜の学力検査得点を使用）	
	小論文	○	
	適性検査	必要に応じて各学校判断により実施	
	面接	必要に応じて各学校判断により実施	

●選抜方法

選抜資料に基づいて総合的に判断し、合格者を決定します。